

東由利村報

第1回
農産品評会
特集号

発行
東由利村役場

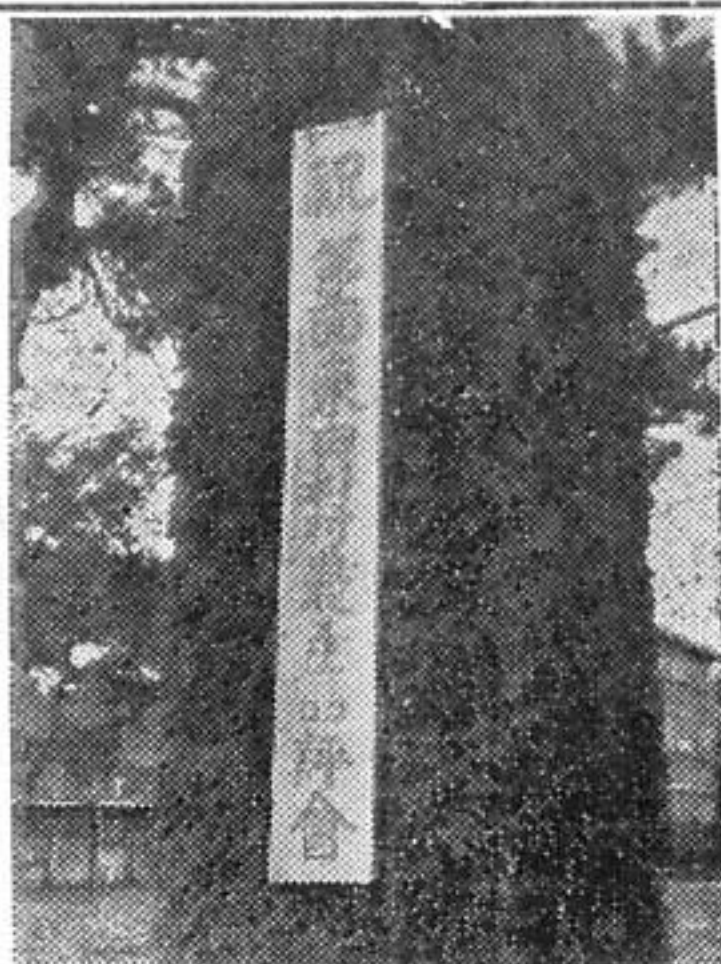
豊穰の秋

農民の祭典盛ん

乾燥期に入ってから雨が続く農産品評会、葉たばこ品評会、き、本村でもまだ稲の穫入れひいては仔畜市場等たて続けにを完了してないがともかくも開催されて活況を呈したが、このところ「豊穰の秋」の感を一豊作の大鼓判……。

本村ではこの一年間の努力のしお深くした。結唱品を一堂に集めて覇を競う

11月4日~6日 新村初の農産品評会 総出品点数五三五点

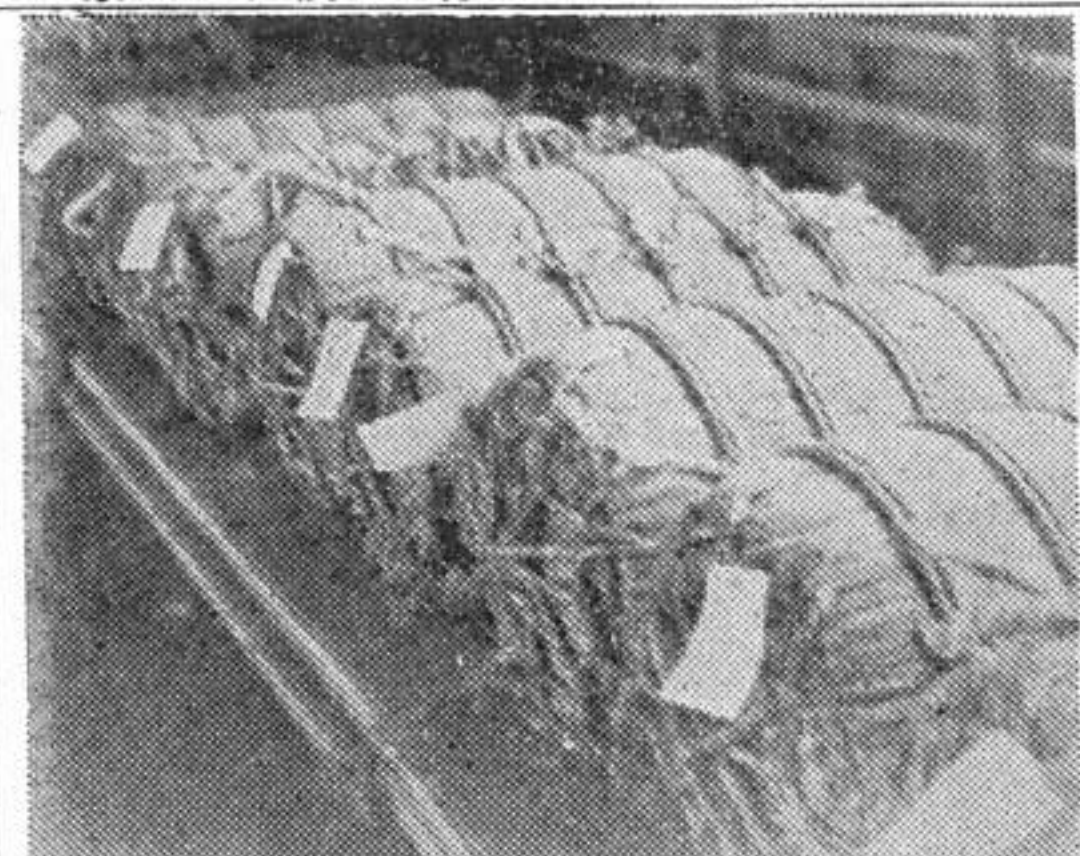


村主催、第一回農産品評会は米一九、水稲三三、蔬菜三二三去る十一月四日より三日間、老薬工品五八、農産加工品四六、方小学校を会場として開催され、三三七、小家畜(兎)一一、大家畜六、山羊二である。

第一日

出足をさそい老方青年会のパザール等がおりこまれてなか／＼盛んであった。

は出品物受付総出品点数五三五、内、俵



【写真説明】 上から①アーチ②陳列された俵米③会場風景④賞品授与式風景

第一会場には薬工品、俵米、兎、特別に農機具も飾られ、第二、第三会場には蔬菜、雑穀、水稲、第四会場には繭、果実、農産加工品がそれ／＼陳列された。

第二日

は一般観覧とならんで農政課由利出張所小松技師改良普及事務所鈴木、戸島技師食糧事務所出張所員等により審査が行なわれた。なお家畜は家畜保健衛生所木村技師、田代小松阿獣医によつて行なわれたが大家畜は台山馬検場において

出品点数不足

今回特に感じられたことは、審査講評によつても特に強調されたことであるが各部門にわたつて出品点数の不足が目だつたことである。

家畜の部、特に大家畜の出陳六頭は申すに及ばず、本村は水

品評会受賞者名

(老等賞・式等賞)

水 稲

①工藤調記(新処)チョウカ

イ、阿部浅吉(横渡)農林一七号

③工藤調記(新処)農林四一号

阿部光四郎(横渡)藤坂五号、畠山光悦(老方青年部)陸羽一三二号、長谷山長四郎(館合新田)チョウカイ。

果実農産加工

①小松茂(新田)りんご国光、玉米中学校ナメコ

②佐藤照子(新沢)りんご国光、菊地富男(新沢)同スターキング、佐藤正男(新沢)同ゴールデン、小松カツヨ(山崎)漬物大根、玉米中学校びん詰りんごジャム

薬工品

①小野清次郎(下通)ケラ、佐藤マサヨ(葦沢)ムシロ

③高橋次男(館合新田)ケラ、小松松之助(八日町)同、小松直吉(田代)カマシ、佐藤菊蔵(葦沢)荷縄、

(二面三段へ続く)



著しい技術向上の跡

第一回葉たばこ品評会催さる

第一回本村葉たばこ品評会は飛躍的進歩の跡がうかがわれた下郷、玉米両葉たばこ耕作組合ことは喜びにたえない。主催のもとに、去る十月十五日本村役場楼上において開催された。

本村の葉たばこ耕作の日浅しとはいえず、耕作面積、人員が近々とみに増進していること、耕作に対する熱意が反映して総出品点数、一六五の多くを数え、標本も陳列されて参考供されるなど、熱心な観覧者に意義づけられていた。

午後三時より褒賞授与式にうつり、増田出張所田村技手の審査講評などがあつて成功裡に会は閉じられたが、品質本位の耕作法方に一変している現下の情勢にかんがみ、今回その技術の

当品評会において受賞の榮にあずかつた人々は次の通りです
▲一等賞 伊東留次郎(蔵)長谷山サダヨ(地下ノ沢)佐藤留吉
▲二等賞 佐藤留吉(地下ノ沢)佐藤吉治(同)鈴木謙二郎(同)池部玉吉(同)伊東キヨエ(蔵)鈴木磐治郎(舟打場)遠藤キヨエ(横渡)三浦与一(田代)
▲三等賞 高橋隆悦他一五名

葉たばこ審査講評要旨

本村の生産たばこは審査のとして、晩作たばこの除去結果、年々向上しつつあるはもろろん、収穫作業の早ことは心強く感ずるところ進、急乾の防止、葉のしのであるが更に申上げたいこと早進、のし湿りの完全脱却とは
一般 葉たばこ審査講評要旨 葉捌 積替 等に
上が遅れていること、急乾完全実行、品位鑑別の眼識なこと等は特に改善された向上等更に努力を望みたいと思う。品質の向上、改ものである。善を図るための重要な条件

小松エキ(下通)米俵

▲①畑山トキエ(土場沢)春蚕、小笠原藤一(同)、▲②遠藤藤八(野田)同、大庭初蔵(舟木)同、高橋三蔵(同)同、小野貞賢(蔵)同、梅津二三雄(大琴)同

藍、小松徳蔵(下小路)葱、白菜(蔵)同、莊野トクミ(下小路)白長芋各一点、太田行男(蔵新田)菜

牛

▲①遠藤聚一(宿)第三かもあさ雌、千葉一男(大台)やちはな同、▲③小野福蔵(宿)秀榮雄馬

伊東竹松(同)同、伊藤与吉(蔵)同、▲②小松運吉(蔵)同、阿部光四郎(横渡)同雄、阿部朝吉(同)同

俵 米

▲①佐藤与吉(葎沢)東北二三号佐藤菊蔵(同)尾花沢、千葉寛太郎(島)農林一七号、▲②小松末吉(新町)同、佐藤蔵治(葎沢)尾花沢、佐藤源治郎(下通)農林一七号、佐々木良一(大琴)東北二三号、佐々木重美(同)同

▲①一等 ▼③二等

(審査講評要旨)

【水稲】

本年の稲作は全般に順調な気象にめぐまれて豊作に属する年であり、従つて一般的に稈長、穂長、穂揃、稔実ともに良好、色合も極めて鮮明、節間の伸長も適度で全般に洗練された優品が揃つている。

大根は良品に乏しいが、葱は良品が出品されている、しかし大半は白根が短かく、葉の分歧点に緊りがない上に不揃いであるから、土寄せの時期と方法等に更に研究を要する。

【果実】 一般に夫々特有の形上と色彩を備え、香氣もよく優品が出品されている。今後更に市場価値の高い果実を増産されるよう一段の努力を望む。

【農産加工】 種々考案された優良品が多く農家食生活の改善向上に資するものが多いことは喜ばしい。たゆまぬ研究を続けるよう。

【薬工品】 実に立派なものも多く、原料もよく選定されて製品本来の目的に合致し、品質も良好である今後あらゆる角度より研究して農家副業として増産に努めてい

【蔬菜】

甘藷は概して良好であるが、甘藷は一般に不整である。馬鈴薯は芽も浅く良く整つているが慾を云えば粒が小さいから適期に適量の追肥と、充分な土寄せをして肥大に留意されたい。

甘藷は実に立派で、白菜は若干重量を欠いているから、その年の気象条件を考慮して播種と収穫の適期を失さぬよう。

【家畜】 大家畜においては飼養管理による肉付不足と、運動不足なものが目についた。なお調度について一般に良好であるからこの点はいつまでも継続するよう。

小家畜(兎)においては品質と濃度飼糧の多給と運動不足のため肥り過ぎがみられた。これは毛質ならびに将来の繁殖に影響するから合理的な箱の作成に留意して、品質向上に努めてい

たゞきたい。

【雑穀】

収穫期の雨天続きにも抱らず良く乾燥に留意されて良好な成績を示している。

【米】 米質については一般に色沢を失った感があつた。これは刈取り時期の適期を失したものであるから注意を要する。

また屑米とともに奇型粒と、変型粒が相当見受られたが、種子の更新と栽培技術に一段の努力が必要なのが感ぜられた。乾燥にも注意されたい。

俵装の点には規格あることを認識され、資材と仕方の両者一体となるよう留意されたい。

【米】